

要請書

平成25年2月5日

厚木基地騒音対策協議会

平成25年2月5日

防衛大臣 小野寺 五典
外務大臣 岸田 文雄 } 殿

厚木基地騒音対策協議会

会長（神奈川県知事）

黒岩 祐治

空母艦載機の移駐について（緊急要請）

厚木基地周辺では、200万人を超える住民が、航空機騒音により、長年にわたり耐え難い苦痛を強いられており、神奈川県及び基地周辺市は、かねてより、このような航空機騒音問題の抜本的解決を求めてまいりました。

その結果、平成18年5月の在日米軍再編協議において、厚木基地周辺住民に多大な騒音被害を及ぼしている空母艦載機を2014（平成26）年までに移駐させることや恒常的訓練施設を2009（平成21）年7月又はその後でできるだけ早い時期に選定することを目標とすることが日米両国政府間で合意されました。

しかしながら、本年1月24日に防衛省から、日米間で施設整備の全体工程を見直した結果、空母艦載機の移駐が可能となる時期は、2017（平成29）年頃になる見込みであるとの説明がありました。

在日米軍再編協議に基づく空母艦載機の移駐は、これまで航空機騒音に苦しめられてきた厚木基地周辺住民の悲願であり、移駐時期の延期は極めて遺憾であります。

平成18年5月の在日米軍再編協議で合意された2014（平成26）年までにはまだ2年、見直し後の2017（平成29）年までには5年もあり、移駐時期の3年延期は、到底納得できるものではありません。

政府におかれましては、厚木基地周辺の実情を改めてしっかりと認識し、引き続き、2014（平成26）年までに移駐することを強く求めます。

あわせて、これまで当協議会が要請してきた、移駐の具体的なスケジュールや進捗状況、恒常的訓練施設の整備の見通し、移駐までの間の騒音軽減、移駐後の厚木基地周辺における騒音状況等について、国や米側が自治体に情報提供等を行うための枠組みを早期に構築することを強く求めます。